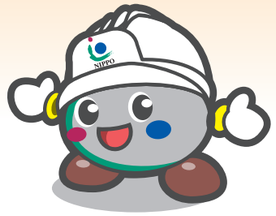
読者の声を受けて



当社では、CSR活動を一層充実させるため、社内外のステークホルダーの声を重視しています。
2018年度レポートではアンケートに対して読者の皆様から計1,011件のご回答・ご意見をいただきました。
皆様から寄せられたご意見・ご質問に真摯に応えられるよう努めていきます。

Q 2018年に竣工した新本社ビルの設計コンセプトは何ですか。

NIPPOは「道」づくりのトップランナーです。「道」が持つ、様々なものをつなぐ機能に着目し、新本社ビルの設計コンセプトは、「ジャンクション」(つながり)としました。各フロアは、中央の執務ゾーンとそれらをつなぐ「ミチ」ゾーンで構成され、社員間の創造的な出会いとつながりを誘発する空間となっています。また、周囲の都市環境とのつながりも図りました。建物の2Fエントランスは災害時に帰宅困難者の受け入れスペースとなり、2F倉庫にはそのための備蓄も行っています。さらに、地域と社員に安全安心な建物を提供するため、基礎免震装置に制振オイルダンパー、直動転がり支承を加えた高度なシステムとし、柱、梁、床等をPCa(プレキャストコンクリート)造として免震性能を高めています。

Q 新本社ビルの環境配慮設計について、詳しく教えてください。

環境配慮設計とは、設計段階で、建物の環境品質(居住性)を高め、環境負荷を低減させることを目指すものです。公的な指標のひとつにCASBEEがあり、最高の「S」から「D」まで5段階の評価を得ることができます。新本社ビルの設計においては、環境品質面で、床染み出し+床吹き出し空調による上下温度差の解消、PCa造による構造体の高耐久化、ダクト・配管材の長寿命化などの配慮に高評価を得ました。環境負荷面では、外装ダブルスキンによる熱負荷抑制、高効率な空調システムの構築と全館LED照明による設備システムの効率化に高評価を得ています。その結果、新本社ビルは、CASBEE Sランクを獲得することができました。

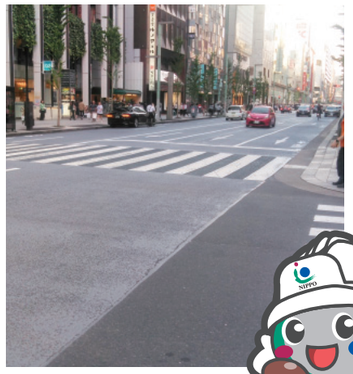
建築部 建築設計グループ
阿部 信之

建築部 建築設備グループ
山下 真人

Q 東京オリンピックに向けての遮熱性舗装はどれくらいの規模ですか。

遮熱性舗装は、2002年に当社が世界に先駆けて開発した路面温度の上昇を抑制する舗装です。2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた暑さ対策の一つとして、東京都が中心となって、マラソンコースを含んだ都道に遮熱性舗装と保水性舗装を累計で約136km整備する予定となっています。遮熱性舗装は約10年前の2008年から、東京都23区の中心部において着実に整備が進められ、2018年度までに東京都で163万㎡の施工実績となっています。

技術企画室 技術推進グループ
蓮田 秀仁



Q 海外駐在の方についてどのような環境で過ごされ、現地の方々とはどのように接していますか。

現在、私はインドの主にインドールという地方都市に駐在しております。宿泊場所はホテルで、食事は日本食を作ることのできるインド人を雇い、賄ってもらっています。移動は基本的に車ですが、逆走してくる車も多いので、日本人が公道を運転することはありません。ホテルマンやエンジニアとして働いているインド人は英語を流暢に話す方も多いので、英語を主に使用しコミュニケーションを取っています。

NIPPO INDIA出向
縄田 雄哉

Q オフィスカーとは、どういったものですか。また、オフィスカーの使用状況を教えてください。

ミニバンタイプの車両に、作業机や100Vコンセント、エアコンを装備した車両です。車内でノートパソコン、プリンター等のOA機器が使用でき、移動式の現場事務所です。

- 外出時のメールの対応
- 作業現場での大きなデータの設計図書等の確認
- 発注者・顧客への資料の送付
- 翌日の打ち合わせ資料の作成

等が行えるため、毎日稼働しています。
現場にはなくてはならない必須アイテムとなっています。

Q 導入してどんな効果がありましたか。

従来は常設の現場事務所に戻っていましたが、その場で処理ができるよう、迅速な対応が行えるようになり、発注者・顧客との信頼関係に寄与しています。また、移動時間が省けることで、時間を有効に使え、書類作業の効率化が図れています。その結果、残業時間が削減され、プライベート時間の確保につながり、ワークライフバランスがしっかりとれるようになりました。

関東第一支店 工事部
佐藤　洋一

読者の声を受けて

私のCSR ページ

「私のCSR」コーナーには、毎年たくさんの共感と激励のメッセージをいただいています。
今年も多くの従業員に日常の取り組みを投稿してもらいました。

関東第一支店　小林 洋貴

私の従事する事業所では、月に一度、近隣商店街の清掃活動を行っています。その際、従業員だけではなく協力会社の方々にも参加していただき、事業所関係者が一丸となり活動をしています。また、事務所内のゴミの分別をする際に、エコキャップ運動も開始しました。私自身もプラスワンで社会に貢献できないか考え、実行しています。

本社 営業企画室　石川 修子

私が在籍する本社営業企画室での社会貢献活動は、本社全体で行う「会社周辺の清掃活動」や「団体献血活動」の他に、部独自として「こどものみらい古本募金」活動への参加に取り組んでいます。
環境美化や未来を担う子どもたちへの支援に継続して取り組んでいくことで、思いやりのある優しい社会のために少しでも貢献できればと考えています。

北信越支店　鶴巻 勇弥

統括事業所で総務を担当しております。活気ある職場の雰囲気は私たち自身で作り出すものだと思っています。明るい事務所が現場をはじめ多くの場面に連鎖していくよう、コミュニケーションを大切に心掛けています。活気あふれる雰囲気を発信していけるよう、自ら率先していきたいです。

関東第二支店　園田 正和

私は工事担当者として、日々現場での作業前・作業後の顧客とのコミュニケーションを大事にしています。顧客と私たちとの目線は必ずしも同じとは限らないので、その時間を利用し目線を合わせるようにしています。多種多様なニーズに即した“確かなもの“を提供するためにも、真摯に向き合っていくことを心掛けています。

四国支店　綾野 由加理

私が在籍している四国支店試験所では、社会貢献活動として「童話の花束」を市内の小学校や図書館に寄贈しています。毎年楽しみにしてくれている生徒さんもいるそうです。そんな未来を担う子どもたちの心身の成長に少しでもお役に立てることを願いつつ、これからもこの活動を続けていきたいと思います。